

松阪牛

松阪牛は日本だけでなく世界にも知られたブランド牛です。家庭やお店で食べるときはなんだか気持ちがウキウキしますね。そんな松阪牛が明和町でも育てられていることを知っていますか。

明和町では令和6年(2024)度現在、7軒の畜産(肉牛)農家が、約3600頭の肉牛を育てており、特に斎宮地区に多いです。昭和35年(1906)には981軒の農家が約1000頭の肉用牛を飼育されていましたが、昭和40年(1965)代になると農家の戸数は急速に少なくなりました。しかし、近年飼育頭数は増加しています。一方、乳用牛は昭和60年(1985)には35軒の農家で約1000頭が飼育されていましたが、現在は飼育されていません。



明和町内での飼育の様子

<松阪牛の条件>

松阪牛は「まつさかうし」もしくは「まつさかぎゅう」と呼び、黒毛和種で子どもを産んでいないメスを指します。生後12か月までの子牛で、多くは30か月以上飼育された後に出荷されます。また、決められたエリアで育てたものしか松阪牛とは認められません。そのエリアは松阪市以外では、明和町・多気町・玉城町・度会町・大台町の全域と津市・伊勢市・大紀町の一部地域に限られています。(令和5年(2023)度は明和・多気支部で約1700頭の松阪牛が出荷されました。)

令和6年(2024)度には、ナンバーワンの松阪牛が明和町から選ばれました。世界に誇る三重県のブランド牛が明和町でもたくさん飼われていることはなんだか誇らしいですね。